

波多野睦美 &

大萩康司

デュオコンサート

天性の歌声と
多彩なギター
の音色が織りなす
名曲の数々！

Mutsumi Hatano

2019年 7月 12日 (金)

19:00 開演 18:45 開場

九州キリスト教会館 4F礼拝堂

福岡市中央区舞鶴2-7-7 092-712-6808

入場料：全席自由 前売 3,500円 学生 2,000円 当日各500円増
フォレストヒルミュージックアカデミー生は各1割引

主催：フォレストヒル音楽工房 Tel.092-715-3828
Info@foresthill-morioka.com

後援：九州ギター音楽協会

Yasuji Ohagi

program

【歌とギター】

アマポーラ～「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」(作詞/L.ロルダン 作曲/J.ラカジェ)
私のお気に入り～「サウンド・オブ・ミュージック」(作詞/O.ハマースタイン 作曲/R.ロジャース)

【ギターソロ】

ローズ～「ローズ」(作詞・作曲/A.マクブルーム) 他
カヴァティーナ～「ディア・ハンター」(S.マイヤース)
愛のロマンス～「禁じられた遊び」(トラディショナル)
11月のある日～「11月のある日」(L.ブローウェル) 他

曲目は変更になる場合がございますのでご了承ください。



波多野睦美 & 大萩康司 デュオコンサート

Yasuji Ohagi

Mutsumi Hatano



大萩康司(ギター)

13歳からフォレストヒルミュージックアカデミーにて学んだのち渡仏。パリエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学び、在学中にギター国際コンクールとして世界最高峰とされるハバナ国際ギター・コンクール第2位、合わせて審査員特別賞「レオ・ブローウェル賞」を受賞。その後4年間イタリアのキジアーナ音楽院でオスカー・ギリアに師事し、4年連続最優秀ディプロマを取得。日本国内での精力的な活動に加え、世界各国に活躍の幅を広げ、各地で熱狂的な支持を得ている。ルネサンスから現代曲まで多彩なレパートリーを持ち、ソロ、室内楽、協奏曲と幅広く取り組んでいる。ジャズ・ギタリストとの共演や、舞踏家とのコラボレーションなど、ジャンルを超えた活動を展開し、メディアへの露出も多く、NHK「トップランナー」「スタジオパークからこんにちは」やTBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、TX「たけしの誰でもピカソ」等にも出演。これまでに16枚のCDおよび2枚のDVDをリリース。2014年、モスクワのチャイコフスキー・ホールで開催されたギター・ヴィルトゥオーゾ・フェスティバル、台湾国際ギターフェスティバル、コロンビアのボゴタで開催されたコンベンサル・ギターフェスティバル、さらには日本・キューバ国交400年記念事業として行われたハバナ市のホセ・マルティ劇場での公演などにソリストとして参加した。

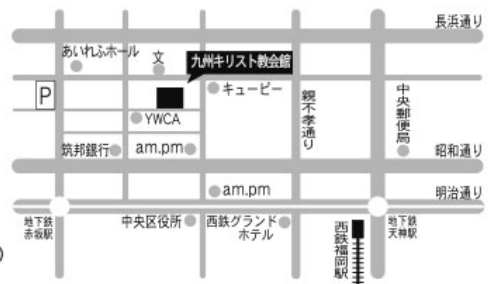
2015年セイジ・オザワ松本フェスティバルではサイトウ・キネン・オーケストラに参加し、ベルリオーズのオペラ「ベアトリスとベネディクト」を演奏、2015年から3年にわたってハクジュホールで行ったセルフプロデュース「ギターと声」で波多野睦美との共演によるカステルヌヴォ＝テデスコ「プラテロとわたし」全曲演奏(2016)や権代敦彦作曲「愛と死」のヴォーカルアンサンブル「ヴォクスマーナ」などの共演による世界初演(2017)は記憶に新しく、その活動は多岐に渡る。

2019年7月には井上道義指揮、NHK交響楽団とアランフェス協奏曲を演奏、秋にはカステルヌヴォ＝テデスコ「プラテロとわたし」を波多野睦美との録音で、全曲日本語版では世界初の作品をリリース予定、そして東京都交響楽団首席オーボエ奏者広田智之とのデュオアルバムも予定している。

第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。フォレストヒルミュージックアカデミー特別講師。

波多野睦美(メゾ・ソプラノ)

英国ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。シェイクスピア時代のイギリスのリュートソングでデビュー。その知られざる魅力を紹介して話題を呼び、英国の専門誌でも高く評価される。以来レパートリー、活躍の場を広げ、国内外での多くのコンサート、音楽祭に出演して独自の存在感を放つ。パッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」などの宗教作品、オラトリオのソリストとして寺神戸亮、鈴木雅明、C.ホグウッド指揮他の多くのバロックオーケストラと共演。オペラではモンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」の孤独な王妃オッターヴィア、パーセル「ダイドーとエネアス」の悲劇の女王ダイドー、モーツァルト「イドメネオ」の苦悩する王子イダマンテなどを演じ、深い表現力で注目される。現代音楽の分野では、間宮芳生作品のアメリカでの世界初演、オペラ「ポポイ」、サイトウキネン武満徹メモリアル、水戸芸術館「高橋悠治の肖像」、サントリーホール「作曲家の個展2013権代敦彦」、サマーフェスティバル2016「ジャック・ボディ/死と欲望の歌とダンス」他に出演し、広い世代の作曲家から厚い信頼を得ている。また「歌曲の変容」と題したシリーズを2005年から王子ホールで続け、古楽から現代にいたる独自の歌曲プログラムを開拓。放送では「NHKニューイヤーオペラコンサート」「名曲アルバム」「BSクラシック倶楽部」「日本の叙情歌」「題名のない音楽会」等に出演。CDは「パーセル歌曲集/ソリチュード」他、古楽器との共演による多くの作品の他、近年は高橋悠治(作曲家/ピアノ)との「ゆめのよる」「猫の歌」、梶尾克樹とのトリオによる「風ぐるま」などを発表。古楽器アンサンブルと歌う最新作「イタリア歌曲集」(レコード芸術特選盤)は広く反響を呼んだ。



地下鉄「赤坂駅」3番出口より徒歩約7分
バス「法務局前」又は「舞鶴1丁目」バス停より徒歩約5分(昭和通り)
「大名2丁目」バス停より徒歩約6分(明治通り)

